



こうほう

— 総代会、各本部全体会議特集 —



DENNET
デンネット“DENNET”は電気 (Denki) 工
事業で固く結ばれた協同集団 (Network)

第 164 号

令和7年(2025年)7月20日

石川県電気工事工業組合

白山信仰自然智の森 那谷寺

那谷寺は、石川県小松市にある白山信仰の古刹で、「ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン」で一つ星を獲得した観光地です。717年に泰澄によって開かれ、自然と共に生きる「自然智」の教えを今に伝えています。

境内には、岩と苔が織りなす幻想的な「奇岩遊仙境」をはじめ、**本堂や三重塔、護摩堂などの重要文化財**が点在し、歴史と自然美を同時に味わえる貴重な空間です。

戦乱により荒廃したものの、江戸時代に加賀藩前田家の手で復興され、現在も多くの参拝者や観光客に親しまれています。

目 次

新年度のご挨拶	1
第84期通常総代会	9
第63回優良従業員表彰式	17
3本部、全体会議	20
電気使用安全月間行事	23
各本部だより	25
青年部だより	34
女性部だより	35
新規採用職員の紹介	36
組合事務局日誌	

新年度を迎えて

理 事 長 米 沢 寛



令和7年6月2日、第84期通常総代会が開催され、皆様のご協力のお陰で全ての議案が承認可決され無事に終えることができました。本年も鋭意取り組んで参りますので、皆様のご協力の程よろしく申し上げます。

先ず、去年は、元日に発生した能登半島地震、9月の奥能登豪雨と二度も大きな災害に見舞われた一年でした。近年では、毎年のように全国各地で自然災害が頻発し、甚大な被害が発生しています。被災された皆様の生活が一日も早く平穏に復することをお祈り申し上げます。

さて、去年の地域経済は、行動規制の緩和により交流人口が回復し、社会経済活動の活発化がみられ、国際情勢の緊迫化やエネルギーと原材料価格の高騰、人手不足による賃金の引上げなど、中小・小規模事業者を取り巻く環境は依然として厳しい中、少しずつ着実に回復してきています。

一方、我が国は、かつて経験したことの無い人口減少社会を迎えつつあります。我々、電気工事業界に於いても今後の発展のためには、電気工事技術者不足に対する担い手確保・育成対策など外国人材の活用を含め若い人たちに興味をもってもらふ業界づくりが変わらぬ課題と考えています。当組合に於いても後継者が無く組合を脱退されていくケースが多く見られ、組合員の減少が続いています。この「組合員減少」にどのように対応していくか、さらに魅力のある組織にするためにどうすべきであるかプロジェクトチームを立ち上

げていますが、全組合員で知恵を出し合い一丸となって取り組む必要があるものと考えます。

さて、能登の復旧・復興作業は着実に進展しています。劣悪な作業環境の多い復旧・復興工事現場においての停電復旧作業では、ほとんど事故が無く、電気工事業界の安全文化は高いと自負しています。安全な作業こそ早期復興への近道です。復旧・復興工事における安全作業を再確認の上、労働災害防止の一層の徹底をお願いします。また、復旧作業を経験したことで若い世代が自らの仕事の社会的意義を実感できる貴重な機会になったと思っています。電気を24時間「安心」「安全」にお届けすることで、人の命をつないでいく仕事に携わり現代社会に欠かすことのできない存在です。

一方、去年の内線工事では、一昨年に続き感電による重大事故が発生し、憂慮すべき状況にあります。基本動作や法令・ルールを遵守して、安全衛生管理活動に積極的に取り組み「ゼロ災害」に繋げていただきたいものがあります。

最後に、今年10月には、第36回電気工事業全国大会が札幌市で開催されます。参加者に役立つ情報提供、最新技術などの知見拡充が図れるよう特に青年部・女性部の本大会参加を支援してまいります。

本年度も引き続き組合員の皆様方の尚一層のご支援ご指導をお願い申し上げます。

新年度を迎えて

副理事長兼
理事長代行兼
加南本部長
(配電担当)

今 出 真 稔



連日、各地で厳しい暑さが続き、本格的な夏の到来を告げる頃となりましたが、組合員の皆さま方におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、能登地区の復旧・復興作業にご尽力いただいている組合員の皆さまには深く敬意を表し、この場を借りて厚く御礼を申し上げます。

昨年度に引き続き副理事長（加南本部長・配電担当）兼理事長代行の大任を仰せつかりました。微力ながら精一杯この任務を遂行してまいり所存でありますので、諸先輩方々はじめ組合員の皆さま方から尚一層のご指導とご鞭撻を賜りたくよろしくお願い申し上げます。先般開催されました第84期通常総代会においても、ご出席いただいた総代の皆さま方の熱心な審議により全ての議案をご承認いただいたことにも重ねて御礼申し上げます。

さて、配電委託工事に関して北陸電力送配電(株)とは良好な信頼関係を継続しており、配電工事委託工量単価も近年は増額改定されてきておりますが、インフレによる物価高騰や世界経済の不透明感が増しており、引き続き強い思いを込めて建設的な協議を深めて参りたいと考えています。

配電工事においては基本ルール遵守と安全作業を基本とし、発注者と受注者間の強固な

信頼関係を目指して参ります。

一方では、熟練技術者の高齢化と少子化による人材不足が複合的に絡み合い企業承継問題が加速しており組合員減少の深刻な課題となっています。将来的に技術力の低下も懸念されるところであります。まずは雇用環境を整備し若年層（外国人雇用含む）の電気工事業界への就労支援や女性の社会進出を応援できる環境を整え人材確保に取り組む必要があります。さらに組合員の減少対策として、組合のスケールメリットを訴求していく必要があります。

このような状況下であります、皆さまと力を合わせてより良い組合活動を行っていきたいと思います。

これから本格的な猛暑の季節となりますが、ご家族・従業員の方々を含めて健康と安全には十分ご留意されご壮健にて盛夏を乗り切られますよう体調管理には十分ご留意されご自愛くださいますようお願い申し上げます。

最後に、皆さま方のますますのご健勝とご繁栄をご祈念いたしますとともに、諸先輩方々はじめ組合員の皆さまから、尚一層のご指導・ご鞭撻を頂戴いたしたくお願い申し上げます。新年度のご挨拶とさせていただきます。

能登半島震災から一年半経って

副理事長兼
能登本部長
(安全担当)

稲垣 健英



令和6年1月1日の16時10分にM7.6震度7の大地震発生から7月1日で一年半が経ちました。この間の復旧に全国から多くの建設業者・電力工事関係者が能登に集結して復旧に全力を挙げて取り組んでいただきました。

又、全国各地から駆け付けていただいたボランティアの方々は倒壊した建物から生活用品、家具他沢山の物を搬出してくれました。

能登に住む我々は感謝してもしきれない気持ちでいっぱいです。

この一年半で倒壊した建物の撤去が進み町の中は更地になった土地が至る所にあり、町の景観が一変していますが少しずつではありますが家の建設も始まり復興感が見えています。平成19年の大地震の時と違うのは当時は50歳代60歳代が中心で家を建設出来ましたがこの地震では70歳代80歳代が中心になったため家を建てる人が少ないと言う事です。

我々、電気工事の業界で起こった事は多くの若い人材が能登には住めないと金沢・小松方面に住所を移す事案が多く見られます。ただでさえ若い人材の確保が難しい能登において若い人材の流失は会社の存続にも関わる事です。まだ地震を契機

に廃業が決まったと言う会社はありませんが今後再建を断念する会社も出てくると懸念します。

能登の全面復興には十年以上の歳月を要すると思われます。

仮設住宅・公営災害住宅・個人の住宅の建設と沢山の仕事があるように見えますがほとんどが地元の会社が仕事に携わる事はありません。個人住宅に至っては地元の建設業者が家を建てる以上にハウスメーカーの施工が目立ちその協力会に加入している電気工事会社が施工し地元の電気工事会社が仕事に入れる事はありません。能登の復興には我々電工事業者の協力が必然ですが、まず会社の復旧が先決事項になります。組合としても何を手伝いすべきか組合員との相談に乗り復旧しなければなりません。

会社の再建には建設資金・社員の確保等頭を悩ます事ばかりですが会社の存続に組合として出来るだけの方策を考えて行きたいと思います。

再建には、本当に気が遠くなるような年月が必要ですが負けずに頑張っていきたいと願うばかりです。

「員外業者(88業者)優遇の 電力メータ取付業務」

副理事長兼
金沢本部長
(電設担当)

柚 木 賢



今年は、西日本の方から早速の梅雨明けの報道がありこの広報が発刊される頃には、こちらの方も猛暑日が続く日々だと思います。皆様方もくれぐれも熱中症に注意して頂きたいと思います。

さて昨年の広報で事業継承のことについて書きましたが、今年度初旬に引込工事業者1社が、廃業されました。皆様もご存じの事と思います。その社長さんは、とても気さくな方で組合員の誰からも慕われ又大変まじめな方でした。後継者が育たなかったのが原因と言われていましたが、それだけでなく今日の引込工事の厳しい現実がありました。

北陸電力の分社化に伴い、電力申請から引込工事の発注の流れが悪く、我々内線業者が電力契約受付にネット申請時に添付した付近見取り図やお客様情報などが送配電の方に伝わっていない等、考えられないような状況が続いています。それらについて金沢本部では、直接引込業者に引込受点の完了を知らせる「引込受点工事連絡票」を作りFAXで送って頂くよう内線業者の方にお願ひし実施しております。引込業者の方からも「助かっている」との声を聞きほっとしております。今後は、この取り組みを能登、加南本部にも紹介し、輪を広げていきたいと思ひます。

又もう一つの問題が、組合員以外の員外業者(88業者)の電力申請工事におけるメータ取付工事の問題です。我々組合員は、組合加入のメリットとして「電力メータの取付を自社の工程に合わせて竣工前送電が出来る。」メリットがありますがそもそもその工賃は、電力会社独特の工量単価で積算しており、内

線工事1工量が530円、1φ3w60Aメータ取付けが4.2工量なりその作業の工賃は、2,226円となります。電力メータ取次店に予約し引取り、さらに時には活線作業になることもあるのに。電力メータは、お客様と電力会社をつなぐとても重要な設備でありながら、あまりにも工量が安すぎます。(当社の積算、電気工事積算マニュアル参考では、5,720円が妥当です。)さらに電力メータの保管は、鍵のかかる場所での保管、取扱作業には、セキュリティ教育まで課せられています。

さらに最悪なのが、員外業者(88業者)の電力申請工事に対して、たてまえとして電力会社が無料で立会い送電という形で行うことになっていますが、実態はすべて員外業者(88業者)のメータ取付業務は引込業者に無理やり請け負わせているのが現状です。それもその件数は、年々増加し昨年度(2024年)金沢管内で2,358件になっています。

そんな状況で引込業者が、引込工事に専念できるわけがありません。せめて員外業者(88業者)のメータ取付業務は、電力会社直営でやって頂きたいものです。その状況を強く電力会社に進言し求めて行きたいと思ひます。

電気工事組合員のメリットとは何なのでしょうか？これらについては、電力会社のメリットとしか言いようがありません。

それ以外にもいろいろと問題がありますが、今回はこれくらいにしたいと思ひます。その他何かご意見がございましたら、電気工事工業組合金沢本部長あてに連絡してください。宜しくお願いします。



常務理事(企画担当)

竹 内 和 良

夏本番を迎えて組合員の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

令和7年度の各地区の全体会議、第84期通常総代会も滞りなく無事終了する事が出来ました。新年度に入り心新たに組合活動を進めていきたいと思ひます。しかし、石川県では能登地方を中心とした、令和6年度能登半島地震、能登豪雨と2度の大きな自然災害に見舞われて大きな傷跡を残しました。組合員の各社にも大きな被害に遭われた方もおられる中で、災害復旧工事に携わっておられますが、現地に行きますと完全復旧には未だ道半ばの感が強く感じられます。

我々業界が力を合わせて電気のインフラの一日も早い完全復旧、復興を目指していかなければいけないと思ひます。世界情勢もアメリカの大統領による関税問題、中東での戦争勃発と混沌としており、遠い出来事の様には感じますが、我々業界の経営環境にも色々と多くの影響を及ぼして来ています。

そのような経営環境ですが、電気工事組合の置かれた環境も後継者不足での廃業が目立つように感じます。組合員数の確保のためにプロジェクトチームを立ち上げましたが、PTの皆さんに色々と意見を交わして頂き、有効な施策を講じて頂きたいと強く思ひます。

女性部の活動も今後の組合運営には重要な原動力になって行くと思ひますので益々の活発な活動をお願いしたいと思ひます。

今後、広範囲な被害が発生すると言われております南海トラフ地震や、各地で色々な災害が起こっていますので、組合員各社がその時に備えて業継続計画（BCP）にも取り組んで頂き、それに即した様々な企画を進めて地域の重要な電気インフラを守る事が出来る強い業界になって行ければと思っておりますので、組合員の皆様のご協力をお願い致します。



常務理事(総務担当)

米 澤 直 明

盛夏の候、皆様方におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。年々暑さが厳しくなっているように感じますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

20xx年、人口減少による人手不足の打開策として開発されたAIロボットPDC1616のひとり言……………

今日も朝から30℃、最高気温は40℃を超えるようだ。今日はA系統電源の切り替え作業。充電部での近接作業であるが、私は何℃であっても暑くはないので熱中症にはならないし、感電もしない。むしろ暑く充電部がそばにあると、体内の熱交換樹脂と電磁誘導発電ユニットが動力源を供給してくれるから作業がはかどる。今日もエラーによる停電だけに注意をして作業しよう、と言っても私の内部エラー検知シーケンスユニットではエラー発生の確率は0.000……%なのですが……………そんな話も遠い先の事ではないかもしれないね。

我が国の人口は2011年の1億2807万人をピークに徐々に減り続けています。2025年1月の確定値は総人口1億2355万人で対前年同月比59万人減っていますが、実は純日本人は対前年同月比90万人減り、外国人が31万人増えている状況です。外国人のほとんどは就労人口であり、徐々に働き手を外国人に頼らなければならない状況となっています。人手不足と言われて久しいですが、あらゆる業種にそれが現実となっている状況です。我が電気業界においては、外国人を受け入れるための在留資格「特定技能」取得の促進と受入体制の拡充、第一種電気工事士取得資格要件の緩和（実務経験5年→3年）、電気工事士試験の受験機会の拡大など、当業界への門戸拡大に向けて全日電工連様を筆頭に組合員の皆様も切磋琢磨なさっています。

日本における人口の減少は、官民あげて国民の意識改革に真剣に取り組んでおられるかと思ひます。我々組合員としましては一人一人が働きがいのある職場をつくるように心がけ実践することにより、これからの若者に魅力のある業界だと認識し担っていただきたいと願っています。

今夏も高温傾向に推移しており、暑くなれば気持ちも散漫になり注意力が無くなります。安全のための確認を省略し思わぬ事故を誘発するケースが考えられます。

集中力は長く続きませんので、作業前に「ここが危険のポイントだ!」を抽出し、危険作業のときに集中して取り組むように緩急をつけた作業に取り組みましょう。

私たち電気に携わる者として、お客様に安心・安全に電気を使用していただくとともに、私たち自身が電気事故・労働災害の防止に積極的に取り組んで参りたいと思ひます。



常務理事(広報担当)

上 村 和 弥

大暑の候、組合員の皆様におかれましては日々業務に精励のことと存じます。

引き続き広報委員会を担当させていただきます上村です。

第84期通常総代会も、組合員の皆様の協力もちまして無事開催され、議事が滞りなく可決、承認されましたことに感謝いたします。

「令和6年能登半島地震」の被災地は復旧から復興へと進みはじめたばかりであり、組合員の皆様におかれては、ご当地のみならず、金沢、加南より能登の現場に通う日々が続いているのではと拝察いたします。

さて今年は6月1日より労働安全衛生規則の改正により職場において熱中症対策が義務化され体制整備、手順作成、周知徹底を図ることとなりました。これも近年の猛暑による熱中症の増加とその重篤化を鑑みればむべなるかなとも思う次第です。

今後は働き方改革に加えて、熱中症対策まで、現場と職場環境の改善を否応なく進めなければならない訳ですが、これも自分たち自身の仕事のやり方、業務の見直しといった会社自体の改革の機会にできればと思います。

また組合では一昨年よりTikTok広告など新しい媒体を使用し高校生を対象に業界認知度の向上を図ってまいりましたが、組合の認知度とその社会的地位の向上に対する可視化が不足しているのでは？と感じております。広報としてもやるべき課題は多く、また同時に組合員に対する貢献度もあらためて訴求してまいりたいと思います。

そのためにも組合員の皆様のご意見、ご要望を寄せていただきますようお願いいたします。

まだまだ猛暑が続く時期ではありますが皆様の健やかな事業運営を祈念いたしますとともに、組合事業運営にもご協力賜りますようお願いいたします。



常務理事(ESCO担当)

宮 下 誠 次

暑さ厳しい毎日が続いていますが、皆さま元気にお過ごしでしょうか。

能登半島地震から一年半が経ちました。復興にはまだまだ時間がかかる状況で、被災された皆さまの生活にもご不便が続いているかと思えます。一日でも早く、穏やかな日常が戻ることを心から願っています。

さて、昨年度は13名の組合員が退会され、今年も6月末時点で3名の方が退会されました。現在の組合員数は399名で、ピーク時(548名)からおよそ7割となっています。この現状を踏まえ、県本部では「シン組合PT」というプロジェクトチームを立ち上げ、組合員減少への対策を始めました。

ただし、課題はとても幅広く、すぐに解決できることばかりではありません。組合のメリットをもっと実感してもらえる仕組みや、内線工事の皆さんにとって魅力的な制度、一人では対応が難しい課題に向き合う相談窓口の設置、そして新たに組合に入りたい方へのサポートなど、やるべきことは山ほどあります。

このままだと、5、6年後には組合員数が300人前後まで減ってしまうのでは…という不安もあります。だからこそ、今が本気で変わるタイミングだと思っています。

今後、アンケートやヒアリングをお願いすることがあると思いますが、その際はぜひご協力いただければ嬉しいです。

最後になりますが、熱中症対策が義務化され、事業主の皆さんのご負担も増えているかと思えます。どうかご自身や従業員の皆さんの健康に気をつけて、何より「安全第一」でこの夏を乗り越えていきましょう！



常務理事(厚生担当)

伊 藤 隆 行

この度の総代会において、厚生委員長を拝命しました。その役職の重責を感じています。

2025年における75歳以上人口は全人口比で18%にのぼり、建設就労従事者は55歳以上が36.6%、29歳以下が11.6%と高齢化が進んでいます。かつ、近年は55歳以上が増加する一方で29歳以下が増減なしとなっており、今後、ベテラン層が退職することで間違いなく人材不足がますます、深刻化していくでしょう。若い人材が労働条件の良い他業種へ流出することは避けなければいけないと思っています。組合全体で、電気工事業界の地位向上、従業員の環境向上を目指し続けることで、我々の業界の発展があると思っています。

また、電気工事業にはインフラ整備を担うという社会的責任を果たしていかなければならないと思っています。そのためには、社会の信頼を得なければなりません。生きがいと誇りをもって働ける力強い業界となるためには、作業員の健康および安全の確保を第一に考えていくことが必要となります。皆様からご指導とご協力を頂きながら、職務を全うしていきます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

最後に、これから暑くなり、続く復旧、復興作業において、健康に留意され安全作業第一で頑張ってください。



常務理事(電力部長)

田 中 祐喜男

令和7年6月2日に行われました、第84期通常総代会におきまして常務理事(電力部長)に選任されました。振り返って見ますと平成25年7月から一年間、金沢本部の配電課長として、そして、令和4年7月からは県本部の安全部長として当組合にお世話になっており、通算5年目となりました。

今回の役員改選で電力部長の大任を仰せつかることになりましたが、石川県電気工事工業組合を取巻く環境は年々厳しさを増しており、後継者不足からくる組合員の減少もあり、課題は山積しております。

このような状況下において、電力部長の役割は組織の維持ならびに統制を図る上で重責を担うものと思っています。

組合収入の大半が北陸電力送配電㈱からの工事受注による賦課金収入であることから、長期的に安定した工事量の受注と工量単価・工量点数の底上げは必要不可欠であり、組合員の安定した利益確保によって組織全体の安定化を図る必要性からも、優先して対応すべき案件と考えております。

特に、金沢市街地(まちなか区域)における拡充申込に伴う引込線施工者の負担軽減策について、発注者と再三協議を重ね一定の理解と対応を頂いておりますが、決して納得できる状況ではないことから、引き続き優先事項として当組合の考えを申し入れする必要があると考えています。

一方、安定した工事量の確保には、前提として無災害に加えて施工品質の向上が必要であります。発注者と連携したパトロールや施工指導の実施、VR装置を使用した災害疑似体験等、工夫を凝らした取組みを行う事で、更に安全文化の定着と品質向上に努めてまいりたいと思います。

最後になりますが、常に、組合員ファーストの考えで電力部長の役割を全うできるよう努めてまいりたいと思いますので、今後とも組合員皆様のお力添えを賜りますようお願い致します。



県青年部長

川 向 尊

令和7年度、8年度、県青年部長の大役を仰せつかることになりました、加南本部から出向いたします、有限会社川向電機商会の川向 尊です。

青年部には24歳から入会させていただき、当初は仕事もできない、若者の盛りにて尖がっておりました。そんな私に対して、現在進行形で向き合いご指導をいただいています先輩方・後輩たちには感謝しかありません。仕事の問題や経営について、楽しい話題、厳しい指導などいただく中で、私にとって電気工事工業組合は、人生においての財産であり宝物であります。

この宝を発展・継承できるように多くのアイデアを想像して実践していくことが青年部の醍醐味であり使命と考えております。

組合のメリット。私は会員一人一人との豊かなコミュニケーションと、尊重できる人材の宝庫であると確信しています。しかし、現実的にメリットがないと会員拡大につながらないのも現実であります。石川県電気工事工業組合が抱える、この大きな課題を県青年部全員で打破しつつ、邁進できるようにしっかり頑張っていきたいと考えます。

金沢青年部・能登青年部・加南青年部・女性部と苦楽を共にしながら絆を深めつつ、組合のさらなる発展につながるよう努力して参ります。ご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。



県女性部長

中 村 志 保

日頃より、石川県電気工事工業組合女性部の活動にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

今年度、女性部では新たな挑戦としてこの紙面をお届けのころには開催していると思いますが、「男を磨く美談塾」を初開催いたします。

この企画は、現場で汗を流す男性の皆さんに、技術だけでなく、立ち居振る舞いや清潔感、そして思いやりの心といった“人としての美しさ”を磨いていただくことを目的としています。

私たちは、こうした取り組みを通じて「きれいな電気男子」を育て上げ、組織全体のイメージ向上と活気ある業界づくりに繋げたいと考えています。

業界に新しい風を吹き込み、若い世代や女性にも魅力を感じてもらえる環境を、女性部の力で形にしていきたいと思っております。

また、北陸三県並びに全国女性部連絡協議会とのつながりを大切にしながら、情報交換や研修会など、実りある活動を展開してまいります。「つながり・学び・発信」を合言葉に、これまで以上に前向きでエネルギーギッシュな一年とする所存でございます。

本年度もどうぞ、皆さまの変わらぬご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

第84期 通 常 総 代 会

去る6月2日(月)ホテル金沢において、第84期通常総代会が開催されました。

当日は、総代60名(内、委任状11名)出席のもと、議案が審議され、原案通り承認された。

- 令和6年度事業報告並びに財務諸表承認の件
- 組合定款一部改正の件
- 役員任期満了による改選の件
- 令和7年度事業計画案並びに予算案承認の件
- 役員報酬決定の件
- 組合加入金決定の件
- 組合借入金残高最高限度額決定の件
- 1組合員に対する貸付最高限度額決定の件
- 本日決議中、その本旨に反せざる字句の訂正を議長に一任の件

総代会議長に加南本部の荒河隆宏氏が選出され、議案審議が行われた。

始めに米沢理事長からご挨拶の後、令和6年度事業の概況報告が説明された。

概 況 報 告

組合員の皆様には、日頃から当組合の事業推進にあたり、格別のご支援、ご協力をいただき、心から厚く御礼申し上げます。

昨年は元日の能登半島地震、9月の奥能登豪雨と二度も大きな災害に見舞われた一年でした。全国各地でも自然災害の発生により大きな被害が出ております。被災された皆様の安全と被災地の一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。また、復旧応援に携わった組合員各位には、深く敬意を表します。

さて、昨年11月28日、「第5回電気工事技能競技全国大会」が横浜アリーナで開催されました。本大会は、一般の部が全工組から1名とブロック代表を含む53名、女性の部が9名、全国工業高等学校長協会推薦の高校生9名が出場、総勢71名が競技に臨み、部門ごとに頂点を目指して熱戦が繰り広げられました。当組合からは、一般の部に石川県代表と北陸ブロック代表の2名が出場し金賞に中川雅賀選手(米沢電気工事)、安全作業大賞



に滝口俊哉選手(滝口電気商会)が輝きました。また、高校生の部では、金沢市立工業高校の東野君が石川県勢初の選手として出場しました。残念ながら入賞には届かなかったものの見事に作品を完成させました。連日連夜遅くまで練習を重ねてきた努力は見る者に感動を与える素晴らしい大会となりました。未来の電気工事業界を担っていく若い力に期待しています。翌11月29日開催の「第6回全国青年部会員大会」では意見交換会・式典・優良活動事例発表・業会魅力発信CMコンテストが行われ、CMコンテストでは、北陸ブロックとして石川県電工組が製作した動画が「大賞」を受賞しました。

当組合関連では、青年部を中心に県内の工業高校生との意見交換会を石川県立工業高校、金沢市立工業高校、羽咋工業高校、小松工業高校の4校で実施しました。この事業を継続することで若い世代の職業選択肢となるように交流を深め、業界の魅力を発信していきます。女性部は、出会いの少ない業界において出会いの場を提供する婚活パーティを実施した他、富山・福井の女性部との意見交換など、活発な活動を実施しました。

我々は、電力の安定供給を担いインフラを支える電気工事業界として、時代に的確に対応することが肝要であり、安全安心に電気を送り届ける使命と自負を持ち、地域社会の持続的発展に貢献する「町の電気ドクター」として、組合員の皆様と共に考え行動したいと考えています。尚一層のご支援ご指導をお願い申し上げます。

令和6年度 事業概要

○組合員 新加入者1名、脱退者13名、
期末において402名。

○出資総額 168,840千円、加入積立金額166,315
千円、合計335,155千円。

○電力受注工事 令和6年度配電工事発注工量は計画の112.9%、前年度対比で107.0%の竣工実績となりました。工費は3,059.8百万円、副資材費699.3百万円、工事費合計では3,759.1百万円の竣工額となりました。

○計器取次店業務 計器取次店業務では、震災対応として大型仮設住宅等の申込や工費解体に伴う全撤工事が増加し、取次件数ならびに受託手数料ともに前年度に比べて大幅に増加しました。

本部名	取扱件数 (件)	受託手数料(千円)
金 沢	9,316	13,678
能 登	2,832	4,420
加 南	3,101	4,488
合 計	15,249	22,586

○一般用電気工作物調査業務 竣工調査において受託件数5,740件（前年度対比84.5%）、受託手数料23,080千円、並びに定期調査において受託件数53,889件（前年度対比98.9%）、受託手数料54,919千円、調査業務として77,999千円の実績となりました。

竣工調査においては、震災等の影響により調査件数ならびに受託手数料ともに前年度を下回りました。また、定期調査においては、調査件数が前年度を下回りましたが、受託手数料は単価の改訂により増加しました。

本部名	実施件数 (件)		受託手数料 (千円)	
	竣工調査	定期調査	竣工調査	定期調査
金 沢	3,408	34,529	14,479	36,462
加 南	2,332	19,360	8,601	18,457
合 計	5,740	53,889	23,080	54,919

○配電工事施工品質評価実績

(単位：件)

評価分類	評価項目	R 5	R 6
取引停止措置	取 引 停 止		
	厳 重 注 意	1	
事故発生	災 害 (不休)	2	
	停 電・漏 油		
安全パトロール	重 大 な 指 摘		
	軽 易 な 指 摘	1	
竣工検査	不 良 工 事	5	2
	注 意 工 事	1	
苦 情	苦 情 発 生		
合 計		10	2

○自主安全管理活動 安全管理は、「基本ルールの遵守徹底による労働災害撲滅」を最重点実施項目として位置付け、諸施策に取り組んできました。当組合の配電委託工事において労働災害の発生はありませんでしたが、他県工組・他業態では重傷災害につながりかねない事案が発生しています。他人事と思わず当事者意識を持って再発防止策を遵守することが肝要です。

今年度も引き続き、基本ルールの遵守を徹底するとともに組合員一人ひとりが、過去の教訓を自分事として捉え、安全意識の向上を図る上で危険予知やリスクを想定した積極的な行動を実践する必要があります。

自主安全パトロールでは、令和6年度の重大指摘事項は、10件となりました。内訳として、外線工事では災害につながる指摘Aが1件、災害につながらない危険な行為である指摘Bは6件で、検電・放電・接地に関する項目が指摘されています。引込線での重大指摘は3件で、班長の監視に関する項目と低圧絶縁ゴム手袋未着用で電圧測定したことによるものです。日常的な作業の慣れや誤った成功体験により危険への感受性が低下し、省略や近道・手抜きにつながったものと考えられます。班長ならびに班員相互の声掛けおよび適切な作業指示と現場管理が実行されていれば防げた事案であります。

また、軽易な指摘では、作業区画標識の不足など公衆災害防止に関するものに加え、ランヤードの不適切な使用や高所作業車バケットへの乗込み時の未使用など、同様の指摘が未だに発生しています。引き続き自主安全パトロールで繰り返し指導していく必要があります。

なお、能登半島地震および能登豪雨の影響からパトロールの出動回数が低調な結果となりましたが、今後も労働災害の防止と施工品質の向上を図るため、関係者が同じ意識のもと積極的に関与し、取り組む必要があります。

○保守管理業務 保守管理業務については、受託契約件数は期首573件、期末においては559件となり、14件（締結3件、失効17件）の減少となりました。減少要因としては、能登地震等で被災されたことによる失効の他、近年は建物改修等により、一般用電気工作物から家用電気工作物に変更されるなどして、減少傾向が続いております。引き続き、特に官公庁関係を主体に陳情を重ねてまいります。

○教育・資格取得講習 令和6年度の第一種電気工事士定期講習は、6回開催し475名（金沢会場4回370名・能登会場2回105名）の方が受講されました。インターネットを利用したオンライン講習が開始され受講者がオンライン講習、対面講習の選択ができるようになり利便性向上につながっています。

定期講習は、電気保安の確保ならびに施工品質の向上、さらには電気工事士の資質の向上を図るために必要不可欠な講習であります。第一種電気工事士の方は、免状の交付を受けた日から5年以内、その後は前回に講習を受けた日から5年以内ごとに受講することが義務付けられています。当組合では、「一般財団法人電気工事技術講習センター」への「登録」を全組合員にお願いしています。今年度も引き続き、まだ登録されていない工事士の皆様、新規取得者の皆様には、是非とも「一般財団法人電気工事技術講習センター」への「登録」をお願い致します。

○電気工事士免状発行等業務 電気工事士免状発行等業務については、全国各工組で取り組みが進められています。第一種電気工事士免状の取得に必要な実務経験年数が「5年以上」から「3年以上」に短縮されて以後、発行件数が増加しています。また、受託手数料についても予算通りの収益計上ができました。

令和7年度も当組合での受託が決定しており、引き続きこの事業を継続することにより組合の存在意義を大きくアピールしていきます。

○金沢市LED防犯灯ESCO事業 ESCO事業は、10年間にわたる維持管理業務の7年が終了しました。令和6年度は、金沢市からの新規取り付け依頼灯数150灯、独立柱新規取付依頼本数22本に対応しました。また、修理依頼による出動回数は497回に上り、主な修理内容では、点滅器交換272件、灯具交換126件、ヒューズ切や向き替えなど103件に迅速に対応しました。その他、アーム型水銀灯の撤去やポール移設、稲作対策等、町会と都度協議しながら本事業を進めています。

毎日町会から問合せや修理依頼があります。本事業以外の街灯の問合せも多数寄せられています。今後も、安全で安心な街づくり推進に心掛け取り組んでいきます。

○電気使用安全月間 令和6年度も8月に電気使用安全月間運動を実施しました。

主な活動内容は、金沢本部管内では街路灯の清掃・点検を金沢・白山・津幡の3カ所で実施した他、仮設臨時施設の点検等を行い、能登本部管内では電気工事に関する無料相談所の開設等、加南本部管内では重要文化財の設備点検、児童募集ポスターの配布を実施しました。その他、各本部でポスターの掲示とチラシ、リーフレットを配布し電気使用安全月間のPRを積極的に展開しました。また、青年部、女性部を中心にエレキスクールを3本部で開催し、子供たちに電気の安全な使用をPRしました。

○広報活動 広報活動と致しましては、組合「こうほう」誌を年3回発行し、組合員各位、及び防災協定を締結している全市・町に配布致しました。テレビCMについては、「電気のフラメンコ篇」、「石川電気安全サービス“電気設備は大切な財産です”」という二つのタイトルでテレビ金沢のフリースポットで放映いたしております。是非ご視聴されますようお願い致します。また、中・高校生に向けた業界PR動画を夏休み期間に限定しTikTok 広告を出稿しました。今後も継続し中・高校生向けのPR活動に取り組んでいきます。

○材料供給事業 材料供給事業については、本年度653,274千円（副資材644,090千円、内線6,076千円、一般3,107千円）の販売促進を図りました。資材供給事業にご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

今後も組合員の経営安定と省力化に資するとともに事業を推進して参ります。

○福利厚生 福利厚生関係については、年度中に組合員1名が他界されました。心から哀悼の意を表します。組合共済会では、9月の能登地方大雨災害で被災された方に補償費の給付をしました。また、例年実施しております健康診断の助成は1,825名、インフルエンザ予防接種は5名の方から申請があり給付を行いました。

全日認定制度は、多くの組合員様にご利用いただいております。第三者損害賠償制度、業務災害補償制度、組立保険制度、取引信用保険制度、更に福利厚生の一環として利用できる「グループ共済制度」「生活総合保険制度」など、多様なニーズに対応する制度がそろっております。スケールメリットを活かした加入費で充実した補償内容となっています。各制度への中途加入も随時受付し加入促進に努めていますので、是非、ご一考下さい。

○全日電工連保険制度

加入状況（令和7年3月現在）

	第三者賠償	業務災害	組立	取引信用	グループ共済	生活総合
加入者	315社	122社	43社	2社	212社	1社

令和6年度 保険金・給付金支給状況

種 別	給 付 金	
第三者損害賠償	10件	5,077,130円
業務災害補償	0件	0円
グループ共済	6件	12,162,000円

○北陸電力持株会 北陸電力持株会は昭和51年4月に発足以来、組合員各位のご理解のもとで令和7年3月末会員は65名、株式数738,782株を所有しております。

北陸電力との関係を一層密にし、協力体制を確立すること、また、少額資金を継続的に積み立てることによる会員の資産形成を目的としております。更に多くの組合員が加入されますようお願い申し上げます。

○青年部 青年部は、技能競技大会対策プロジェクトチームの主要メンバーとして、選手の支援をし、2人の入賞（金賞・安全作業大賞）に貢献をしました。また、高校生との意見交換会も10年間継続しており、若年者の入職にも貢献しております。

これからも将来の電気工事業界を担う責任世代として、青年部の諸活動に対し、支援をしていく考えであります。

○女性部 女性部は、2月にD電P絆パーティと銘打ち、出会いの少ない業界において出会いの場を提供する婚活パーティを実施しました。その他にも富山・福井の女性部との意見交換など、活発な活動を実施しております。引き続き、女性部が活発な活動ができるように支援をしていく考えであります。

組 合 員 事 項

期首 414名 新加入 1名 脱退者 13名 期末 402名

〔新加入者名〕

No.	事 業 所 名	代表者名	所 在 地	本 部	支 部
884	はたば電気工事(株)	中村 真太郎	小松市下牧町ホ47－1	加南	小松

〔脱退者名〕

事 業 所 名	代 表 者 名	本 部	支 部
川 畑 電 気 商 会	川 畑 光 雄	金 沢	兼 六
ほ そ 川 ラ イ テ ッ ク (株)	細 川 隆 治	金 沢	兼 六
(有) 吉 幸 電 気 工 事	吉 岡 幸 治	金 沢	兼 六
(有) 前 川 工 業	前 川 修	金 沢	兼 六
(有) タ カ ラ デ ン キ	越 柴 外代子	金 沢	み な と
(有) 泉 電 気 商 会	泉 和 則	金 沢	み な と
(有) ノ リ テ ッ ク	吉 崎 眞 徳	金 沢	西 部
(有) 興 松 電 気	清 水 昌 博	金 沢	白 山
宗 藤 電 気 商 会	宗 藤 三 洋	金 沢	河 北
北 森 電 気 工 事	北 森 満	能 登	羽 咋
お も て 電 気 工 業 所	表 建 男	加 南	小 松
丸 若 電 気 商 会	若 林 邦 宏	加 南	小 松
針 谷 電 機	針 谷 健 造	加 南	加 賀

令和7年度事業計画

国内経済は、度重なる自然災害の発生に加え、国際情勢の緊迫化やエネルギー・原材料価格の上昇、人手不足による賃金の引上げ等、中小企業・小規模事業者を取り巻く環境は、依然として厳しい状況が続いています。また、米国による追加関税措置の影響は、国内の幅広い産業に及ぶとみられ経済環境の悪化が懸念されます。一方、明るい話題としては、大阪・関西万博が開幕し、昨年の能登地震を奇跡的に免れた輪島塗大型地球儀「夜の地球」が展示されています。復興のシンボルでもあり、対立や分断を超えて他者に思いを巡らすことの意味を世界に向け伝えていきたいとの願いも込められています。

さて、昨年は「基本ルールの遵守徹底による労働災害撲滅」を最重点実施項目と位置付け、諸施策に取り組んできた結果、災害発生は4件、前年と比べ大幅に減少したものの、残念ながら内線工事において感電による重傷災害が発生した他、不注意による軽症災害が発生しています。これらの要因としては、基本ルールの不遵守に加え経験不足や危険予知の低下、安全確認を他人任せにする傾向があると考えられることから、組合員一人ひとりが安全意識の向上を図る上で法令・ルールの遵守を徹底し、危険予知やリスクを想定した積極的な行動を実践する必要があります。今年度も引き続き「基本ルールの遵守徹底による労働災害撲滅」を最重点実施項目として、各種教育、安全パトロール等の実施により安全・施工品質向上に向けた取り組みを推進します。

近年、各産業界での人手不足が顕在化しつつあります。我々、電気工事業界も今後の発展のためには、電気工事技術者不足に対する担い手確保・育成対策など外国人材の活用を含め若い人たちに興味をもってもらい業界づくりが変わらぬ課題と考えています。青年部が中心となって実施している業界理解促進交流事業「高校生との意見交換会」は、次世代の電気業界を担う若年層を支援し入職者促進の一助となるよう今後も活動を継続していきます。

当組合に於いても後継者が無く組合を脱退されるケースが多く見られ、組合員の減少が続いています。この「組合員の減少」にどう対応していくか、さらに魅力のある組織にする等、全組合員で知恵を出し合い一丸となって取り組む必要があるものと考えます。

今年10月、「第36回電気工事業全国大会」が北海道で開催されます。青年部、女性部の本大会参加を支援してまいります。

その他、従前から行われております諸事業については、組合員各位のご協力の下、成果があがり組合運営の充実がなされるよう取り組みを進めていく考えであります。

今年度も引き続き組合員の皆様方の尚一層のご支援ご指導をお願い申し上げます。

重 点 目 標

1. 基本ルールの遵守徹底による労働災害撲滅

- (1) 高所作業車が使用できない現場での梯子・脚立の使用禁止（配電施工者）
- (2) 内線工事における高所作業では原則「立ち馬」を使用し、やむを得ず梯子作業を実施する場合は可能な限り二人以上で梯子の上下固定を確実に実施する
- (3) 高所作業における墜落防止措置の確実な実施
- (4) 作業前や作業区分変更時におけるKY・TYの確実な実施（一人KY含む）
- (5) 低圧充電作業（測定含む）における低圧ゴム手袋着用徹底、停電作業における検電による停電確認の徹底

2. 法令遵守と風通しの良い職場環境づくり

- (1) 声掛け、職場懇談会、教育受講者と事業主との面談による成果の確認等コミュニケーションの活性化
- (2) 事業主からの訓示による従業員への行動規範の再徹底
- (3) 各種研修会、教育の機会を捉えた行動規範の再徹底と法令教育の実施

3. 施工品質の向上

- (1) 班長の目視による確認の徹底
- (2) 目視が困難な場合は班員に指示し、報告を受けること「復唱復命」の徹底
- (3) 送停電操作における対面による作業指示および復唱復命の確実な実施
- (4) 自問自答、指差呼称による班員一人ひとりの「一動作一確認」の徹底
- (5) 操作・作業に違和感を覚えた場合は、一旦作業を中止、再確認を徹底
- (6) トラブル事例と再発防止策の理解促進教育の実施
- (7) お客さま工事不良通知施工者に対する再発防止教育の実施
- (8) 一般用電気工作物調査員のスキルアップ

4. 施工力の確保

- (1) 積極的な声掛けによるモチベーション向上とOJTによる技術指導
- (2) 工具、機械への効果的な設備投資（高経年機材の適切な更新等）
- (3) 各種教育の実施（県工組大-新入社員教育、連合会大-若年者教育、中堅社員教育）
- (4) 高校生との意見交換会による電気工事業界への理解促進活動の推進

5. 交通安全・自主健康管理の推進

- (1) 事業主、安全管理者による安全運転指導の実施
- (2) 安全運転管理者（代行者）による運転者の運転前後の酒気帯び確認の実施
- (3) 特殊車両における特定自主検査（年1回）の確実な実施
- (4) 車両始業前点検の励行と交通KYによる防衛運転の実施
- (5) 定期健康診断の積極的受診と管理監督者の声掛けによるメンタルヘルスケアの実践

6. 組合運営の活性化

- (1) 員外施工者への組合加入の促進
- (2) 業務効率化に向けたDX化の推進
- (3) 青年部・女性部活動との連携強化
- (4) 各種諸行事への積極的参加（石川県電気安全協力会・内線工事研究会等）
- (5) ほくりく地域産業企業年金基金事業への協力支援

7. 正しい原子力知識の啓発と原子力発電への理解

- (1) 「北陸地区電気エネルギーを考える会」への協力支援
- (2) 電力会社並びに関係官公庁諸団体との連携、一層の緊密化

石川県電気工事工業組合役員名簿

令和7年6月2日 現在

<新役員の紹介>

役職	氏 名	事業所名
理 事 長	米 沢 寛	米沢電気工事(株)
副理事長兼理事長代行	今 出 真 稔	(株)今出電気商会
副理事長	稲 垣 健 英	稲垣電機(株)
〃	柚 木 賢	(株)柚木商事
常務理事	竹 内 和 良	竹内電気工事(株)
〃	米 澤 直 明	立野電気工事(株)
〃	上 村 和 弥	上村電建(株)
〃	宮 下 誠 次	(株)鳴和電気商会
〃	伊 藤 隆 行	(株)旭電機商会
〃 (員外)	田 中 祐喜男	石川県電気工事工業組合
理 事	桜 田 剛	桜田電気工事(株)
〃	大 竹 和 彦	大竹電機(株)
〃	高 桑 寛 治	エレックジャパン (同)
〃	野 口 努	野口電気(株)
〃	徳 田 謙 一	徳田電設(株)
〃	木 村 昌 幸	(有)木村電気商会
〃	山 内 謙 一	シグマ電機(株)
〃	本 島 大 昌	(株)本島電機商会
〃	中 江 寿 之	(有)川崎電気商会
〃	橋 本 邦 彦	(有)中島電気工事
〃	菊 田 三 雄	北陸電気設備(株)
〃	高 元 政 広	(有)能登電業社
〃	松 本 賢 一	松本電機(株)
〃	山 口 尚 彦	山口電設(株)
〃 (員外)	山 田 剛	石川県電気工事工業組合
監 事	忠 村 光 宏	(株)忠村電業社
〃	林 悟 志	藤本電機(株)
〃	東 本 一 郎	東本電気(株)

95名を表彰

◆石川県知事賞

□勤続30年表彰（21名）

○金沢本部（10名）

喜 多 昭 市（上村電建(株)）
北 川 陽 一（勝崎電気工業(株)）
山 口 秀 一（(株)北越ティーテック）
後 川 高 志（ツボ電気工事(株)）
中 山 真 潮（(有)ヤマックス）
萩 沢 浩 樹（(株)柚木商事）
竹 田 浩（(株)鶴来電気商会）
岩 村 尚 昌（立野電気工事(株)）
岡 田 欣 也（ ）
荒 井 久 範（成瀬電気工事(株)）

○能登本部（2名）

中 多 章 紀（坂室電機(株)）
薄 井 克 弘（(有)若葉電気商会）

○加南本部（9名）

宮 崎 毅 志（中谷電気工事(株)）
矢 野 隆 二（秋田電気工事(株)）
橋 本 和 彦（ ）
西 亭 名生左（ ）
二 木 幸 一（章栄電設(株)）
安 田 修（竹内電気工事(株)）
岩 崎 慎一郎（山口電設(株)）
安 田 理 恵（ ）
小 森 外 治（(株)北陸エレテック）

◆石川県中小企業団体中央会会長賞

□勤続20年表彰（10名）

○金沢本部（5名）

古久保 猛（米沢電気工事(株)）
山 科 誠（ ）
藤 田 健 資（ ）

田 上 智 美（米沢電気工事(株)）
河 野 茂（(株)鳴和電気商会）

○能登本部（1名）

生 野 博 行（坂室電機(株)）

○加南本部（4名）

宮 脇 惇 郎（東本電気(株)）
田 中 陽（(株)上伸電機）
新 家 博 史（竹内電気工事(株)）
松 村 翔 太（山口電設(株)）

◆石川県電気工事工業組合理事長賞

□勤続15年表彰（23名）

○金沢本部（14名）

吉 田 大 二郎（米沢電気工事(株)）
岸 人 裕 弥（ ）
工 藤 翔 馬（ ）
加 藤 裕 之（ ）
水 仁 志（ ）
松 井 理 信（ ）
高 道 吉 郎（ ）
山 本 貴 大（ ）
小 泉 賢 二（ ）
松 田 大 介（ ）
後 藤 広 樹（(株)鳴和電気商会）
村 田 剛 志（上村電建(株)）
瀬 口 誠（(株)ジョウデン）
西 川 千 恵（(株)アルファ電装）

○能登本部（2名）

白 馬 大 樹（昇陽電機(株)）
水 野 希 一（桜井電気工事(株)）

○加南本部（7名）

広 田 峻 也（東本電気㈱）
 都 竹 香 織（竹内電気工事㈱）
 青 木 大 地（ ）
 千 滝 諒 哉（ ）
 河 端 裕 樹（山口電設㈱）
 面 尚 吾（ ）
 中 筋 賢（石川県電気工事工業組合）

箕 浦 和 彦（ツボ電気工事㈱）
 横 山 宏 佑（立野電気工事㈱）
 坪 井 唯 真（ ）
 西 村 英 樹（石川県電気工事工業組合）
 小 森 友 莉（ ）

○能登本部（5名）

平 野 伸 明（藤本電機㈱）
 西 田 勝 太（ ）
 池 端 賢 吾（稲垣電機㈱）
 駒 寄 和 志（㈲能登電業社）
 鰐 貴 大 介（石川県電気工事工業組合）

□勤続10年表彰（40名）

○金沢本部（31名）

森 田 卓 也（米沢電気工事㈱）
 米 澤 穰（ ）
 中 道 浩 基（ ）
 永 原 辰 哉（ ）
 小 西 健 太（ ）
 豊 島 康 希（ ）
 永 江 健次郎（ ）
 飯 野 佳 彦（ ）
 坂 井 翔 一（ ）
 高 田 さやか（ ）
 米 沢 有 弘（ ）
 布 橋 俊 典（㈱鳴和電気商会）
 栗 原 秀 晃（ ）
 田 中 めぐみ（ ）
 尾 崎 広 岳（ ）
 神 田 智 司（ ）
 宮 川 大 志（桜田電気工事㈱）
 岡 嶋 隼 人（㈱城南電設）
 森 岡 健 太（ ）
 岡 佑 介（㈱オオイエ電機）
 新 田 涼 平（第一電機工業㈱）
 辰 巳 雅 彦（ ）
 村 谷 政 信（ ）
 洞 口 泰 騎（ ）
 竹 口 達 也（ ）
 西 川 保（吉本電興㈱）

○加南本部（4名）

川 中 大 平（㈱今出電気商会）
 野 口 哲 朗（竹内電気工事㈱）
 寺 田 正 夫（山口電設㈱）
 木 下 慎 二（石川県電気工事工業組合）

□特別功労賞（1名）

中 川 雅 賀（米沢電気工事）

	金沢	能登	加南	計
知 事 賞30年	10	2	9	21
中央会長賞20年	5	1	4	10
理 事 長 賞15年	14	2	7	23
同 10年	31	5	4	40
同 特別功労	1	0	0	1
計	61	10	24	95

3 本部、全体会議

金 沢 本 部

全体会議開催 5月12日(月)
於 金沢東急ホテル

金沢本部全体会議は、金沢東急ホテルに於いて、米沢理事長ら役員のご出席の下、113名 が出席し開催されました。



◆令和7年度 重点目標

「安全基準作業手順の徹底・法令遵守し、
ゼロ災害を目指す！」

(1) 労働災害の防止

- ・指差呼称による一動作一確認の徹底
- ・災害リスクの低減と不安全行動防止のより一層の強化
- ・目配り、気配り、思いやりのある行動

(2) 経営基盤の安定化

- ・人づくり 人材確保と育成に合理的で有効な方策
- ・高校生との意見交換の継続
業界理解促進交流事業については、青年部及び女性部が中心になり将来の人材確保対策として実施
- ・新規組合加入者、事業承継への支援

(3) 電気工事の施工品質の向上

- ・組合員相互の連携の強化。外線・引込・内線の連絡の徹底
(計器取付時の誤結線撲滅、計器取付予定

日の厳守)

- ・工事技術の向上により第三者損害賠償事故の撲滅(埋設物、埋設配管の調査確認)
- ・北陸電力(株)様、北陸電力送配電(株)様との意見交換

(4) 配電工事施工体制の強化

- ・企業統治(ガバナンス)強化による外線・引込線及び内線の工事技術の向上
- ・自主検査の徹底により不良工事の撲滅、人材育成教育の充実と技能継承の強化

(5) 営業分野拡大による需要開拓

- ・「製・販・工需要開発会議」の継続実施
- ・保守センター業務処理の迅速な対応とフォロー

(6) 省エネルギー機器の推奨、地球環境保全の意識高揚

- ・金沢市ESCO事業維持管理の継続
- ・脱酸素社会に向けての原子力発電の啓蒙
- ・EV充電設備「EV工事プロ」の推進

(7) 地域社会への貢献

- ・電気使用安全月間運動に於ける一般需要家に対する効果的なPR活動
(青年部活動、金沢市の街路灯清掃、小学生を対象としたエレキスクール)

(8) 組合員意識の啓発、PR、広報活動

- ・組合ホームページの充実
- ・高校生との意見交換、業界のPR
- ・女性技術者の人材確保と育成

感謝状贈呈

組合員として20年間組合に貢献された方
(平成16年4月1日～平成17年3月31日組合加入)
㈱さんでん 代表取締役 山田秀人(犀川東支部)

内線工事優良施工者表彰

最優秀賞	東亜電機工業(株)
優秀賞	宮島電興(株)
優良賞	中京電設(株)

能登本部

能登本部では、4月11日(金)に和倉温泉「のと楽」会議室において開催致しました。

当日は米沢理事長ら役員のご出席の下で、41名の参加者により議案の審議が行われました。尚決議の結果、賛成多数となり以下の全議案を可決と致しました。

併せて公益財団法人 石川県産業創出支援機構 センター長 多田久俊様、金沢税務法律事務所弁護士 宮本研太様により講演会を開催致しました。

- 第一号議案 イ. 令和6年度事業報告
ロ. 令和6年度収支決算報告承認の件
- 第二号議案 役員任期満了による改選の件
- 第三号議案 イ. 令和7年度事業計画(案)
ロ. 令和7年度予算(案)承認の件



能登本部安全衛生ポスター標語 優秀作品者表彰(記念品授与)

○令和7年度重点目標の部

坂室電機(株) 星場 実 氏
「無災害 一步一步の 積み重ね」

○スローガンの部

坂室電機(株) 星場 実 氏
「声掛けで 危険を防ぐ ゼロ災害」

○行動目標の部

志賀電気設備 岡島 光秋 氏
「焦らず 気負わず 確実に！」

◆基本目標

「基本ルールの順守徹底による労働災害撲滅」

◆重点目標

1. 組合運営の充実・職場の活性化

- (1) 人材の育成と高齢化対策の実施
- (2) 組合互助会・第三者損害賠償事故などの撲滅
- (3) 定期健康診断の実施
- (4) 青年部・女性部活動の育成と支援

2. 安全意識の高揚・労働災害及び公衆災害の撲滅

- (1) 職場作業環境に的確な自主安全管理活動の実施
- (2) 事業所訪問及び現場パトロールの実施
- (3) 労働災害の防止及び交通事故防止の対策強化
- (4) 積極的な声掛けによるコミュニケーション強化

3. 配電工事の施工力確保と施工品質の向上

- (1) 能登半島地震復旧工事や高経年化設備更新工事に対する施工力確保
- (2) 施工品質評価結果の周知と確実な対応
- (3) 自主検査・工事前後の点検によるヒューマンエラーと不良工事の撲滅
- (4) 自主・特別安全パトロール時での的確な助言と指導事項の周知徹底

4. 電気工事新技術の取得・経営意識の高揚

- (1) 各種資格取得の支援
- (2) 第二種電気工事士・第一種電気工事士の育成
- (3) 施工証明書の活用と提案型技術営業の構築
- (4) 施工品質向上に向けた取り組みと接地不良工事の撲滅

5. 電気設備保守とPRの促進

- (1) 保守管理業務の拡大と点検業務の完全実施
- (2) オール電化機器の販売促進
- (3) 電気使用安全月間における電気設備無料相談所開設
- (4) お客様工事不良通知設備の改修強化

6. 広報活動による組合意識の啓蒙

- (1) 電気使用安全月間における電気使用によるPR
- (2) 組合活性化及び組合のPR
- (3) エネルギーを取り巻く環境への理解強化

加 南 本 部

5月20日(火)

「ゆのくに天祥（山代温泉）」で開催



5月20日「ゆのくに天祥」大会議室において、米沢理事長・田中電力部長らのご出席の下開催し、組合員44名が出席しました。

《議事》

第一号議案

- イ．令和6年度事業報告の件
- ロ．令和6年度活動費収支計算書報告の件

第二号議案

令和7・8年度総代の報告ならびに役員・組織の一部変更（案）承認の件

第三号議案

- イ．令和7年度事業計画（案）承認の件
- ロ．令和7年度活動費予算（案）承認の件

令和7年度重点目標

- 1．自主安全管理活動による基本作業の順守徹底・安全意識の定着化による「ゼロ災」の達成と感電災害の防止
- 2．配電工事における安全最優先ならびに基本ルールの遵守と施工品質向上の取り組み及び効率化の推進
- 3．内線工事施工後の自主点検の確実な実施による不良工事の撲滅
(特に計器工事と接地工事)
- 4．組合組織の体制強化に向けた組合加入促進対策の立案と実施
- 5．電気工事業界の認知度向上と就労支援の促進
 - ・SDGs（持続可能な開発目標）を意識した事業活動の構築と実施
 - ・女性やシニア世代及び外国人雇用など多様性を認識した就労支援
- 6．災害発生時の情報収集と迅速な応援体制の確立
- 7．経営力強化の支援と電気工事価格の適正化および業界の地位向上
- 8．電気工事士の資格取得に向けた講習会の実施及び支援
- 9．地域行事への積極的参加と地域情報の収集
- 10．北陸電力(株)および北陸電力送配電(株)との情報交換と相互協力による連携強化
- 11．各委員会・各種行事の参加率向上による組合活動の活性化



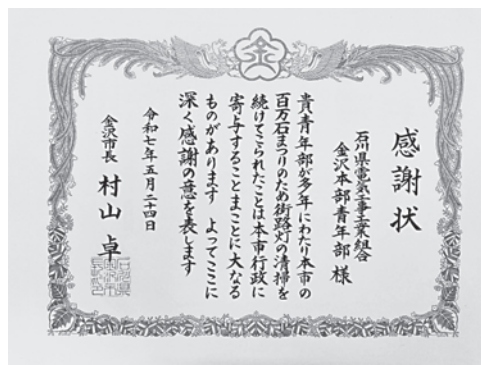
電気使用安全月間行事

◇金沢本部

「百万石通り街路灯清掃」

百万石まつりを2週間前に控えた5月24日(土)早朝、恒例の百万石通り街路灯清掃を青年部員22名の参加で行った。今回は当該場所の清掃が30回目ということで、村山金沢市長より直接、感謝状

をいただいた。清掃作業には、村山金沢市長も参加したほか、本部役員も道路のゴミ拾い行い、祭りに備えた。



〈今後の行事予定〉

7月16日 かほく市内街路灯清掃 (河北支部)

8月2日 エレキスクール

8月22日 白山市内街路灯清掃 (白山支部)

8月

内線工事現場臨時施設パトロール実施 (金沢本部安全部)

◇能登本部

〈今後の行事予定〉

- サービス相談所開設（定置）
日時：令和7年8月1日（金）～8月29日（金）
9：00～16：00
場所：当組合 能登本部
- 小学校児童を対象としたエレキスクールLED
親子工作教室の開催（青年部）
日時：令和7年8月9日（土）
予定 9：00～11：30
場所：志賀町富来活性化センター
- キャラバン隊による巡回PR
（企画広報部会）
日時：令和7年8月9日（土）
予定 9：00～11：00
場所：志賀町富来地区
内容：電気使用安全月間のPR
- 電気工事に関する無料相談所開設
（企画広報部会）
日時：令和7年8月9日（土）
予定 9：00～11：30
場所：志賀町富来活性化センター

◇加南本部

〈今後の行事予定〉

- 7月中 電気使用安全月間PR大型看板設置（加南本部会館外壁）
- 7月下旬 組合員に昨年度電気使用安全月間ポスターコンクール最優秀賞受賞作品ポスター配布
- 8月上旬 重要文化財の電気設備点検
- 8月1日 電気使用安全月間PR活動出発式（電気安全サービス）
- 8月2日 「エレキスクール in こまつ」（小松市内小学生児童対象）電気安全使用のPR
- 8月中 車両による巡回PR、チラシ・リーフレット・ツール等の配布
- 8月中 「電気使用安全児童ポスターコンクール」管内小学生児童から月間PRポスター募集
- 8月中 内線作業現場の安全パトロールの実施、安全点検・電気災害防止PR



●●●●●各本部だより●●●●●

金 沢 本 部

1月6日 仕事始め
 1月8日 外線引込線合同部会
 1月14日 外線・引込線防保護具耐圧試験
 (1/30迄)
 1月16日 羽咋工業意見交換会
 1月18日 外線引込線合同部会 (山代温泉)
 1月20日 小松工業意見交換会
 1月23日 県選挙管理委員会
 E S C O委員会
 1月24日 金沢選挙管理委員会
 1月27日 安協合同パトロール
 1月28日 内線防保護具耐圧試験
 1月29日 全体会議 (金沢東急ホテル)



本部役員会 (金沢東急ホテル)
 内線防保護具耐圧試験

2月4日 北陸連合会安全管理指導員研修
 2月5日 北陸連合会安全管理指導員研修
 青年部定例会
 2月6日 拡大引込線部会
 2月8日 県青年部新年会
 2月13日 外線保安教育
 2月14日 第一種電気工事士定期講習会
 (県地場産業振興センター)
 県配電委員会
 北陸女性部交流会

2月17日 配電自動化更新教育
 2月18日 内工研幹事会 (電力)
 2月19日 金沢市立工業高校意見交換会



2月20日 組合員減少対策 PT 準備会
 拡大引込線部会
 2月27日 本部役員会
 青年部定例会
 2月28日 厚生部会
 3月3日 無停電2級更新教育
 3月5日 班長資格更新教育
 3月11日 内工研大研修会 (白山会場)
 (白山市松任学習センタープララ)



3月14日 内工研大研修会（津幡会場）
（津幡町文化会館シグナス）



3月17日 内工研大研修会（金沢会場）
（いしかわ総合スポーツセンター）



県本部執行理事選挙告示日

3月18日 外線特別安全パトロール

3月24日 金沢本部役員選挙告示日
無停電1級更新教育

3月25日 県総務委員会

3月28日 手直し通知業者特別教育
（異業種研修会館）



3月31日 県本部執行理事立候補締切
金沢本部役員立候補締切

4月2日 第二種工事士（筆記）講習会講師打合
会

4月3日 電気安全協力会委員会（電力）

4月5日 青年部総会



4月8日 いなずま会打合会

4月10日 電気安全協力会理事会（電力）

4月15日 組合員減少P T

4月16日 本部役員会

4月21日 配電工事事業主会議（ホテル日航）

4月22日 監事会

4月26日 第二種工事士（筆記）講習会①



4月27日 第二種工事士（筆記）講習会②

- 5月8日 常務会
 5月9日 県青年部総会
 5月10日 第二種工事士（筆記）講習会③
 女性部総会（金沢東急ホテル）



- 5月11日 第二種工事士（筆記）講習会④
 5月12日 全体会議（金沢東急ホテル）



金沢本部役員会（金沢東急ホテル）

- 5月13日 青年部定例会
 5月14日 県役員会（ANAクラウンプラザ金沢）
 5月17日 第二種工事士（筆記）講習会⑤
 5月18日 第二種工事士（筆記）講習会⑥
 5月24日 百万石通り街路灯清掃



- 5月27日 フルハーネス特別教育
 （外線引込線新人社員）
 5月28日 外線引込線新人教育
 5月29日 外線引込線新人教育
 6月2日 優良従業員表彰式（金沢東急ホテル）
 総代会（金沢東急ホテル）



- 6月4日 電気安全協力会委員会（電力）
 6月9日 計測器照合試験（上期）



- 6月10日 計測器照合試験（上期）
 6月11日 計測器照合試験（上期）
 内線新人教育講師打合せ

6月12日 電気安全協力会研修会
(県地場産センター)
計測器照合試験(上期)

6月13日 外線引込線合同部会

6月17日 内線新人教育①



県広報委員会

6月18日 内線新人教育②

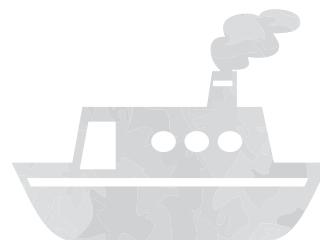
6月19日 内線新人教育③

青年部定例会

6月24日 いなずま会例会(白山カントリー泉水)

6月26日 組合員減少対策 PT

6月27日 安全部会



能登本部

1月6日 仕事始め

1月14日～2月7日 計測器等照合試験

1月16日 青年部高校生との意見交換会
(於：羽咋工業高校)



1月17日 新年会・役員会

(於：羽咋市休暇村能登千里浜) 16名

1月23日 県選挙管理委員会 (於：県本部)

2月3日 総代選挙告示

2月4日 安全管理指導員研修会

(於：志賀町いこいの村)

2月13日～27日 絶縁防保護具耐電圧試験

2月14日 総代選挙立候補締切

2月14日 配電委員会 (於：県本部)

2月18日 電力様との新年懇談会 (於：金沢市)

2月20日 シン組合PT会議 (於：県本部)

2月21日 安全協力会交差パトロール

2月28日 青年部役員会

3月3日 県執行理事選挙告示

3月14日 県執行理事選挙立候補締切

3月14日 支部長会議・役員会

3月18日 令和6年度下期配電工事特別安全パトロール

3月25日 総務委員会、安全委員会 (於：県本部)

4月3日～24日 間接活線工具耐電圧試験

4月5日 青年部総会 (於：やまじゅう)



4月11日 全体会議及び講演会 41名



4月15日 シン組合PT会議 (於：県本部)

4月21日 配電工事事業主会議

(於：ホテル日航金沢)

4月22日 監事会 (於：県本部)

4月26日～5月24日 (毎週土曜日)

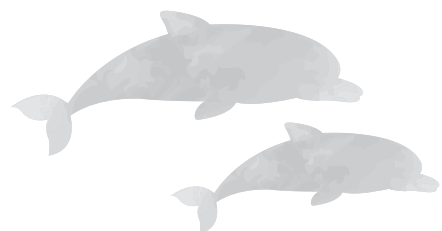
第2種電気工事士学科講習会



5月7日～28日 高所作業車耐電圧
5月8日 常務会（於：県本部）
5月14日 県役員会
（於：ANAクラウンプラザホテル金沢）
5月27日～29日 配電工事施工者新入社員教育
（於：県本部）
6月2日 総代会・優良従業員表彰式
（於：ホテル金沢）



6月6日 連合会総会（於：富山市）
6月11日 内線施工者新入社員教育事前打ち合わせ会議（於：県本部）
6月17日 広報委員会（於：県本部）
6月18日～27日 仮設開閉器、リードケーブル耐電圧試験
6月19日 内線施工者新入社員教育（於：県本部）
6月26日 シン組合会議（於：県本部）
6月28日 第2種電気工事技能講習会



加南本部

- 1月6日 組合業務仕事始め
- 1月7日 加南本部新年安全祈願祭・新年顔合わせ・年始挨拶回り
- 1月14日 安全協力会祈願祭
小松支部・加賀支部
- 1月15日 トルクドライバー校正試験 加賀支部
39本/18社（内不良0本）
- 1月16日 第1回小松支部世話人会 5名
令和6年度総会打合せ
- 1月17日 加賀支部役員会
割烹「もりもと」 4名
- 1月20日 小松工業高校意見交換会 16名
電気科2年生42名



- 1月21日 組合員研修会
「令和6年能登半島地震・奥能登豪雨への対応と復興への取り組み」
報告：北陸電力(株) 奥小松支店長
加南本部新年全体会議
「のとや」 42名



- 1月24日 加南本部選挙管理委員会 7名
- 1月28日 小松労働基準協会 定例理事会
令和6年度小松支部総会
「アパホテル（小松グランド）」 34名
令和6年度事業報告・会計報告
- 2月6日 令和6年度加賀支部総会
「ゆのくに天祥」 13名
令和6年度事業報告・会計報告
安全サービス意見交換会
検満事前教育 1社
- 2月13日 小松商工会議所
小規模企業振興委員連絡会
- 2月19日 安全協力会 交差パトロール
- 2月27日 配電工事保安教育（防護管・営巣巡視）
外線工事施工者 6名

3月3日 本部執行役員選挙投票日



3月4日 加賀労働基準協会 理事会

3月10日～19日 活線防保護具耐圧試験

3月14日 圧縮工具メーカー定期点検

3月19日 低圧検満施工者会議 5社

3月24日～26日 間接活線工具耐圧試験

3月25日 電気記念日記念式典

優良電気工事業者表彰

タボタ電機㈱

代表取締役 多保田学泰

石川県電気安全協力会小松地区本部
事務局会議

4月10日 第1回執行部会 5名

運営諸般について

4月15日 トルクドライバー校正試験

小松支部 60本（内不良0本）

4月14日～16日 仮設開閉器・リードケーブル耐
圧試験

4月17日 第1回総務委員会 7名

運営諸般について

4月18日 第1回配電災害対策委員会 10名
運営諸般について

労働保険年度更新事務受付 42社

4月19日 令和6年度青年部総会 森本 10名

4月21日 県配電事業主会議 ホテル日航金沢

4月23日 第1回役員会 15名

運営諸般について

4月24日 小松労働基準協会 理事懇談会・労務
福祉委員会 小松商工会議所

5月7日～23日 全12回

第二種電気工事士筆記試験講習 受講
者12名

5月9日 小松支部世話人会 6名

「クリーンビーチいしかわ in こまつ」
の参加について

5月12日～16日 高所作業車耐圧試験

圧縮工具圧力試験

5月13日 小松能美木造建築工事安全対策連絡協
議会 役員会・監査会

内工研役員会

5月15日 小松労働基準協会

健康診断団体会議

5月16日 加賀市防火協会 定例総会

5月20日 令和7年度加南本部全体会議

ゆのくに天祥

・令和6年度事業報告、決算報告

・令和7年度事業計画、予算承認



5月22日 つる巡視説明会 3社

5月26日 北陸電力新ビル現場見学会 11名



5月27日～29日 外線引込線施工者新入社員教育

5月29日 小松基準協会 定例理事会

5月30日 第73回電設工業展視察研修会 13名



6月2日 第84期通常総代会 ホテル金沢

6月4日 小松労働基準協会 安全衛生委員会

6月7日 クリーンビーチいしかわ in こまつ
安宅海岸清掃 小松支部20名



第80回北電工組親睦ゴルフコンペ
片山津ゴルフ倶楽部西コース 25名

6月12日 小松地区本部

安全表彰

【個人】

米久浩二（㈱青山電気商会）

宮下幸士（㈱宮下電気商会）

【団体】

目標5年（4社）：（有）北西電気商会

中央電気工業所

（有）宮越電気商会

（有）三嶋電機工業所

目標4年（1社）：（株）上伸電機

目標3年（1社）：秋田電気工事（株）

目標2年（1社）：竹内電気工事（株）

目標1年（2社）：（株）今出電気商会

（株）北陸エレクトック



6月17日 加賀労働基準協会 理事会

6月18日 第1回企画経営委員会 5名

令和7年度事業計画について

6月23日 第2回配電災害対策・第1回安全合同
委員会 16名

令和7年度事業計画について

6月24日 小松能美木造建築工事安全対策連絡協
議会 通常総会

●●●●● 青年部だより ●●●●●

県青年部総会

令和7年5月9日(金)、一浪(小松市)にて、総会を開催した。

司会に三嶋氏(三嶋電機工業所)、議長に今出氏(今出電気商会)が務め、

- ・令和6年度事業報告(案)及び支出報告(案)承認の件
- ・役員改選(案)承認の件
- ・令和7年度事業計画(案)及び支出予算(案)承認の件



の3議案が審議され、すべて原案通り承認可決された。

新役員は以下の通り

役 職	氏 名	事 業 所 名	本 部
部 長	川 向 尊	(有)川向電機商会	加 南
副 部 長	澤 田 浩 基 小 川 省 吾 大 川 隆 史	(有)沢田電興社 (有)小川電設 大川電気商会	金 沢 能 登 加 南
理 事	嶋 田 愛 彦 米 沢 有 弘 高 井 主 櫻 井 裕 介 瀬 戸 優 弥 酒 井 太 志 川 崎 竜 二 中 谷 敦 上 出 順 二 朗 梅 津 謙 介 東 本 大 志 三 嶋 大 輝 今 出 圭 亮	(株)リョウ 米沢電気工事(株) (株)ツカサ電工 (有)川崎電気商会 第一電機工業(株) (有)さかでん シグマ電機(株) (有)中谷電気工事 (有)平和電業社 (有)中筋電気工業所 東本電気(株) (有)三嶋電機工業所 (株)今出電気商会	金 沢 金 沢 金 沢 金 沢 金 沢 金 沢 金 沢 能 登 加 南 加 南 加 南 加 南
監 事	高 桑 寛 治 稲 垣 健 山 田 覚	エレクトクジャパン(同) 稲垣電機(株) 山田電気工事	金 沢 能 登 加 南
顧 問	今 村 強	今村デンキ	金 沢
相 談 役	森 川 昌 志 安 部 良 中 村 栄 太 郎	ヤスイ電気(株) (有)安部電気工事 (株)明生電気商会 / 米沢電商(株)	金 沢 金 沢 金 沢

女性部だより

女性部総会

令和7年5月10日（土）、金沢東急ホテルにて総会を開催した。

司会に安田氏（山口電設）が、議長には規約に則り、中村部長（ナカタケ）が務め、

- ・令和6年度事業報告（案）及び支出報告（案）承認の件
- ・役員改選（案）承認の件
- ・令和7年度事業計画（案）及び支出予算（案）承認の件

の3議案が審議され、すべて原案通り承認可決された。

新役員は以下の通り

役 職	氏 名	事 業 所 名
部 長	中 村 志 保	(株)ナカタケ
副 部 長	細 川 加代子 竹 内 美 生	(株)鳴和電気商会 竹内電気工事(株)
理 事	安 田 理 恵	山口電設(株)
監 事	東 本 愛 子	東本電気(株)
相 談 役	山 内 謙 一 今 村 強 櫻 井 裕 介	シグマ電機(株) 今村デンキ (有)川崎電気商会



新規採用職員の紹介

《金沢本部》



中 戸 ゆ い

本年4月より金沢本部で勤務させていただいております、中戸ゆいと申します。
分からないことだらけでご迷惑をおかけするかと思いますが、皆さまのお力になれるよう頑張りますのでご指導のほどよろしくお願いいたします。

(採用年月日：令和7年4月1日)

《加南本部》



清 水 勝

令和7年7月より、加南本部で勤めさせていただいております。
清水勝と申します。

これまでの北陸電力送配電での勤務経験を活かしながら、組合と組合員皆さまの事業発展に貢献できるよう努めたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(採用年月日：令和7年7月1日)

働く皆様に将来の安心を。



で退職金。

「中退共」は中小企業のための
国の退職金制度です。

毎年10月は加入促進強化月間です。

- ① 国の退職金制度！
掛金の一部を国が助成します。
- ② 外部積立型でラクラク管理！
管理や運用の手間がかかりません。
- ③ 掛金は全額非課税でオトク！
節税に加え、手数料もかかりません。

- パートタイマーさんも
ご加入いただけます。
- 他の退職金・企業年金制度等
との資産移換も可能です。



詳しくはホームページ
をご覧ください。

独立行政法人勤労者退職金共済機構 中小企業退職金共済事業本部 TEL (03) 6907-1234 FAX (03) 5955-8211

石川県電気工事工業組合「任意労災制度」

「2025年6月現在の内容です。」

～たいへん多数のご加入でご好評をいただいております～

任意労災制度(業務中のケガと病気補償) 【業務災害総合保険】の特長

1. 団体契約なので個別にご加入いただくよりも割安です。
※50事業者以上の場合:事業者数割引が15%適用されます。
2. 従業員の方々からの **個別健康告知は不要**です。
3. 貴社の事業内容および売上高から保険料を算出します。
4. 保険料は**全額損金処理が可能です**。
※法人が契約者として、従業員全員(役員を含みます。)のために負担する保険料は全額が損金扱いとなります。
(法人税基本通達9-3-5.9-3-6の2を準用 2025年 5月現在)
5. 業務中の**地震によるケガも補償**します。
(地震・噴火・津波危険補償特約セットの場合)
6. 高額化する労災訴訟への備えとして、
最高5億円(※)までの損害賠償責任に対応!
※損害賠償保険金の支払いにあたっては、労災保険の請求結果が必要です。
(注)事業内容によっては引受限度額が1災害最高3億円になります。
※弁護士費用等の争訟費用も補償します。

※この広告は保険商品の概要をご説明したものです。
詳細につきましては、パンフレットをご覧くださいか、
取扱代理店または引受保険会社にお問い合わせください。

◎このような場合に保険金をお支払いいたします。



職場に向かう途中のケガ



仕事中のケガ

お問い合わせ先

石川県電気工事工業組合
「任意労災制度」推進担当
AIG損害保険株式会社 金沢支店
金沢市南町4-60 金沢大同生命ビル

<https://www.aig.co.jp/sonpo>

TEL 076-222-0005 FAX 076-222-1287

(受付時間)午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

(営業種目)自動車保険・火災保険

賠償責任保険・その他各種損害保険

引受保険会社



AIG損保

AIG損害保険株式会社

募集文書承認番号: D-007884(202606)

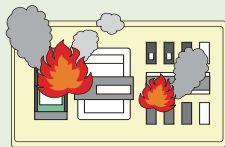
全日電工連認定損害保険制度の概要

全日電工連組合員の皆さまに、3つの損害保険制度をご用意しております。全日電工連ならではのスケールメリットを生かした割安な加入費(保険料)で皆さまの経営を支えます。

物への補償

組立保険制度

組合員の皆さまの資材、工事物件を守ります。



夜間火災が発生し、現場事務所および収容の什器・備品を焼損した。



工事現場で電線が盗難にあった。

人への補償

業務災害補償制度

従業員や役員、個人事業主などの労災リスクを補償します。



作業中に感電して亡くなりました。



従業員が作業中にケガをし、後遺障害第1級が生じた。

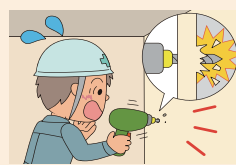
ご自身の損害

第三者損害賠償制度

第三者(他人)の身体に障害を、または財物に損壊を与えてしまったことにより、法律上の賠償責任を負った場合に補償します。



5年前の太陽光発電システム設置工事の際、ボルトの締めが緩かったためすき間ができ、雨漏りが発生した。



空調設備工事中、誤って壁をキズつけた。



工事中、誤って工具を落とし通行人にケガをさせた。

第三者の損害

もっと自分らしい 働き方 休み方

Refresh!

年休にとって
楽しい
夏休みを！



年次有給休暇 を上手に活用し 働き方・休み方を見直しましょう

- 「年次有給休暇の計画的付与制度」を導入しましょう。
- 年次有給休暇付与計画表による個人別付与方式を活用すれば休暇の分散化にもつながります。

厚生労働省 | 都道府県労働局 | 労働基準監督署

働き方・休み方改善ポータルサイト <https://work-holiday.mhlw.go.jp/>

年次有給休暇取得促進特設サイト

年休取得促進
特設サイト▶



もっと自分らしい 働き方 休み方

年次有給休暇 を上手に活用し 働き方・休み方を見直しましょう

年次有給休暇の計画的付与制度を導入しましょう。

「年次有給休暇の計画的付与制度」とは、年次有給休暇の付与日数のうち5日を除いた残りの日数について、労使協定を結べば、計画的に休暇取得日を割り振ることができる制度です。この制度の導入によって、休暇の取得の確実性が高まり、労働者にとっては予定していた活動が行いやすく、事業主にとっては計画的な業務運営に役立ちます。

①日数 付与日数から5日を除いた残りの日数を計画的付与の対象にできます。

例1 年次有給休暇の付与日数が10日の労働者

5日	5日
事業主が計画的に付与できる	労働者が自由に取得できる

例2 年次有給休暇の付与日数が20日の労働者

15日	5日
事業主が計画的に付与できる	労働者が自由に取得できる

◎前年度取得されずに次年度に繰り越された日数がある場合には、繰り越し分を含めた付与日数から5日を引いた日数を計画的付与の対象とすることができます。

②活用方法 企業、事業場の実態に合わせたさまざまな付与の方法があります。

方式	年次有給休暇の付与の方法	適した事業場、活用事例
一斉付与方式	全従業員に対して同一の日に付与	製造部門など、操業を止めて全従業員を休ませることのできる事業場などで活用
交替制付与方式	班・グループ別に交替で付与	流通・サービス業など、定休日を増やすことが難しい企業、事業場などで活用
個人別付与方式	個人別に付与	年次有給休暇付与計画表により各人の年次有給休暇を指定

年次有給休暇の計画的付与に関する労使協定の例（個人別付与方式の場合）

〇〇株式会社と〇〇労働組合とは、標記に関して次のとおり協定する。

- 当社の従業員が有する〇〇〇〇年度の年次有給休暇(以下「年休」という。)のうち5日を超える部分については、6日を限度として計画的に付与するものとする。
なお、その有する年休の日数から5日を差し引いた日数が6日に満たないものについては、その不足する日数の限度で特別有給休暇を与える。
- 年休の計画的付与の期間及びその日数は、次のとおりとする。
前期＝4月～9月の間で3日間 後期＝10月～翌年3月の間で3日間
- 各個人別の年休付与計画表は、各期の期間が始まる2週間前までに会社が作成し、従業員に周知する。
- 各従業員は、年休付与計画の希望表を、所定の様式により、各期の計画付与が始まる1か月前までに、所属課長に提出しなければならない。
- 各課長は、前項の希望表に基づき、各従業員の休暇日を調整し、決定する。
- 業務遂行上やむを得ない事由のため指定日に出勤を必要とするときは、会社は組合と協議の上、前項に基づき定められた指定日を変更するものとする。

〇〇〇〇年〇月〇日

〇〇株式会社 代表取締役 〇〇〇〇

〇〇労働組合 執行委員長 〇〇〇〇

時間単位の年次有給休暇を活用しましょう。

年次有給休暇の付与は原則1日単位ですが、労使協定を結べば、年5日の範囲内で、時間単位の取得が可能となります。労働者の様々な事情に応じた柔軟な働き方・休み方に役立ちます。

〈労使協定で定める事項〉

① 時間単位年休の対象労働者の範囲

対象となる労働者の範囲を定めてください。一部の者を対象外とする場合には、「事業の正常な運営を妨げる場合」に限られます。

② 時間単位年休の日数

1年5日以内の範囲で定めてください。

③ 時間単位年休1日分の時間数

1日分の年次有給休暇が何時間分の時間単位年休に相当するかを定めてください。1時間に満たない端数がある場合は時間単位に切り上げてください。(例)所定労働時間が1日7時間30分の場合は8時間となります。

④ 1時間以外の時間を単位として与える場合の時間数

2時間単位など1日の所定労働時間数を上回らない整数の時間単位を定めてください。

●就業規則や労使協定のモデルは、「年次有給休暇取得促進特設サイト」をご覧ください。

労働基準法が改正され、2019年4月から年5日間の年次有給休暇を確実に取得させることが必要となっています。

注) 時間単位の年次有給休暇の取得分については、確実な取得が必要な5日間から差し引くことはできません。

「令和7年6月1日に
改正労働安全衛生規則が
施行されます」

職場における 熱中症対策の強化について



熱中症による死亡災害の多発を踏まえた対策の強化について

職場における 熱中症による死亡災害の傾向

- ・死亡災害が2年連続で30人レベル。
- ・熱中症は死亡災害に至る割合が、他の災害の約5～6倍。
- ・死亡者の約7割は屋外作業であるため、気候変動の影響により更なる増加の懸念。

ほとんどが
「初期症状の放置・対応の遅れ」

早急に求められる対策

「職場における熱中症予防基本対策要綱」や「STOP! 熱中症クールワークキャンペーン実施要綱」で実施を求めている事項、現場で効果を上げている対策を参考に、

現場において

**死亡に至らせない
(重篤化させない)ための
適切な対策の実施が必要。**

基本的な考え方



現場における対応

熱中症のおそれがある労働者を早期に見つけ、その状況に応じ、迅速かつ適切に対処することにより、熱中症の重篤化を防止するため、以下の「**体制整備**」、「**手順作成**」、「**関係者への周知**」が事業者に義務付けられます。

1

「熱中症の自覚症状がある作業員」や「熱中症のおそれがある作業員を見つけた者」がその旨を報告するための体制整備及び関係作業員への周知。

※報告を受けるだけでなく、職場巡視やパディ制の採用、ウェアラブルデバイス等の活用や双方向での定期連絡などにより、熱中症の症状がある作業員を積極的に把握するように努めましょう。

2

熱中症のおそれがある労働者を把握した場合に迅速かつ的確な判断が可能となるよう、
① 事業場における緊急連絡網、緊急搬送先の連絡先及び所在地等
② 作業離脱、身体冷却、医療機関への搬送等熱中症による重篤化を防止するために必要な措置の実施手順(フロー図①②を参考例として)の作成及び関係作業員への周知

対象となるのは

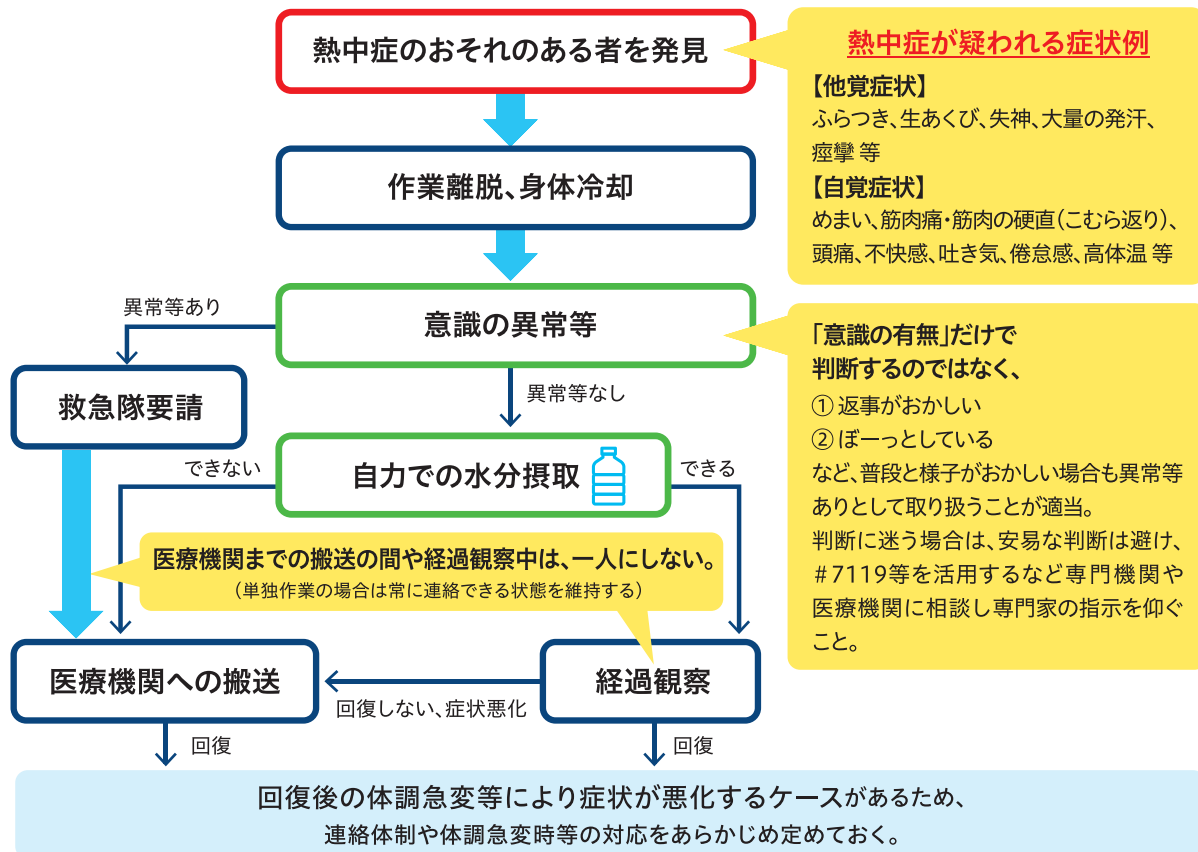
**「WBGT28度以上又は気温31度以上の環境下で
連続1時間以上又は1日4時間を超えて実施」が見込まれる作業**

※作業強度や着衣の状況等によっては、上記の作業に該当しない場合であっても熱中症のリスクが高まるため、上記に準じた対応を推奨する。
※なお、同一の作業場において、労働者以外の熱中症のおそれのある作業に従事する者についても、上記対応を講じることとする。

職場における熱中症対策の強化について

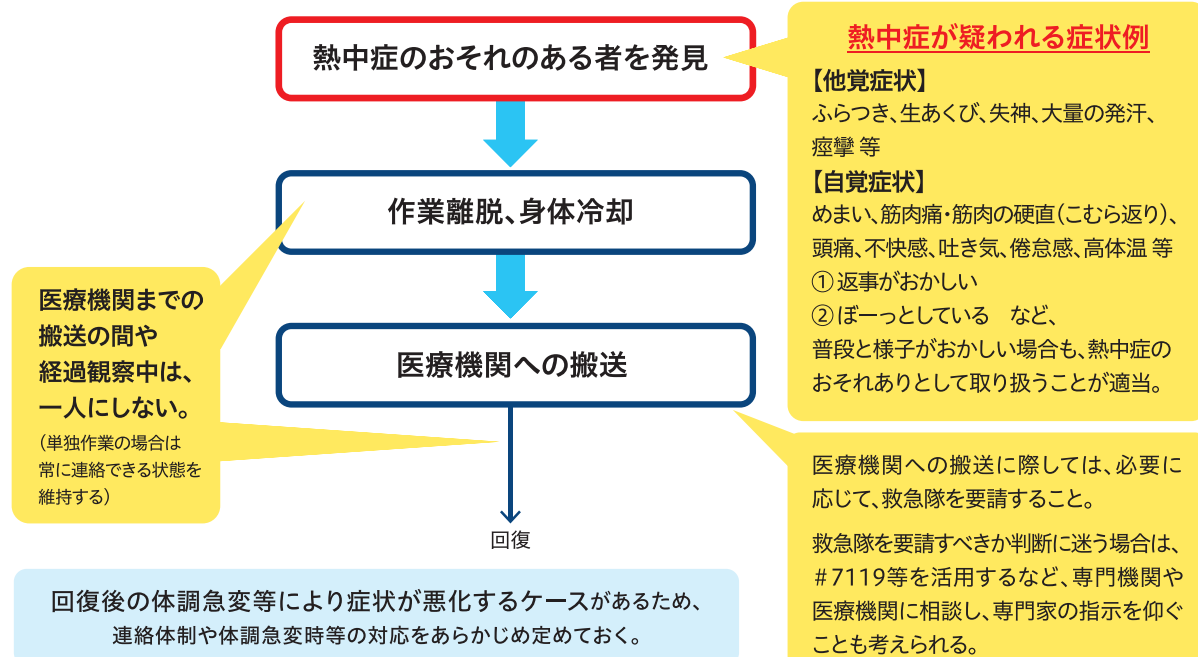
熱中症のおそれのある者に対する処置の例 フロー図 ①

※これはあくまでも参考例であり、現場の実情にあった内容にしましょう。



熱中症のおそれのある者に対する処置の例 フロー図 ②

※これはあくまでも参考例であり、現場の実情にあった内容にしましょう。



全日電工連の生命保険

グループ共済制度・団体3大疾病保障保険

全日電工連グループ共済制度
ご加入の皆さまへ

グループ共済制度が
パワーアップします!!

死亡保障上乗せ保障

(団体3大疾病保障保険)が充足します!

2025年3月制度充足予定!

がん(悪性新生物)・急性心筋梗塞・脳卒中

により約款所定の条件に該当した時、保険金をお支払い(死亡保障や高度障害の保障はありません)

こんな時お支払いの対象となる可能性があります!

がん(悪性新生物)

保険期間中に生まれ初めて所定のがんになったと診断されたとき

胸にしこりがあることに気づき、病院にて精密検査を受けたところ、**乳がん**と診断された(上皮内新生物は除く)

一時金100万円

健康診断で便潜血が見つかり、精密検査を受けたところ、**大腸がん**と診断された

一時金100万円

急性心筋梗塞

所定の手術を受けたとき または
初診から60日以上労働制限が継続したと診断されたとき

突然胸痛が発生、急性心筋梗塞と診断され、
初診から60日以上労働制限を必要とする状態が継続したと
医師に診断された
一時金100万円

脳卒中

所定の手術を受けたとき または
初診から60日以上神経学的後遺症が継続したと診断されたとき

脳動脈瘤が破裂し、**頭蓋内血腫除去術**※
を受けた

※公的医療保険制度における医師診療報酬点数表に定める手術

一時金100万円

<月額概算掛金表> 保険金額一律100万円

(保険金は加入者本人の受取となります)

	15~35歳	36~40歳	41~45歳	46~50歳	51~55歳	56~60歳	61~65歳	66~70歳	71歳	72歳	73歳	74歳	75歳
男性	414円	524円	554円	711円	931円	1,304円	1,818円	2,501円	3,010円	3,198円	3,396円	3,603円	3,821円
女性	431円	616円	706円	778円	897円	1,016円	1,247円	1,628円	1,893円	1,988円	2,088円	2,192円	2,300円

上記月額掛金には制度運営費120円を含んでおります。
記載の掛金は概算掛金です。(契約全体の総保険金額が1億円と仮定)実際の掛金は、申込締切後に確定するため記載の掛金とは異なる場合があります。
※本資料は、「団体3大疾病保障保険」の概要を示したものです。詳しくは、パンフレットをご覧ください。
■記載の年齢は、保険年齢を使用しています。保険年齢は新契約日(2025年3月1日)現在の年齢を満年齢で計算し、1年未満の端数について6か月を越えるものは切り上げて、6か月以下は切り捨てます。
■加入者が少なかった場合、導入されない可能性があります。

<ご加入例> 会社掛けとなります

	年齢	性別	保険金額	掛金月額(概算)
社長様	62歳	男性	100万円	1,818円
従業員様	58歳	女性	100万円	1,016円
従業員様	47歳	男性	100万円	711円
従業員様	37歳	女性	100万円	616円
従業員様	33歳	女性	100万円	414円
掛金月額合計				4,575円

全日本電気工業労働組合連合会

〒105-0014 東京都港区芝2-9-11 全日電工連会館1F TEL:03-5232-5861

手続きや制度内容のお問い合わせは右記の
連絡先、または裏面をご覧ください
住友生命保険相互会社
【受付】月~金 午前9時~午後5時(祝日・12月31日~1月3日を除く)
全日電工連担当 03-6664-8560

団体3大疾病保障保険のポイント

1. **がん(悪性新生物)・急性心筋梗塞・脳卒中**により約款所定の条件に該当した時、保険金をお支払い(死亡保障や高度障害の保障はありません)
2. **保険金額は一律100万円**
3. **掛金は会社掛け**(損金または必要経費に算入できます)
4. **お手頃な掛金**
掛金例: 44歳の月の掛金(概算)は保険金額100万円につき男性:554円・女性:706円
5. **医師の診査は不要**
告知項目に該当が無ければお申込みいただけます
6. **剰余金が生じた場合は配当金が支払われます**
7. **グループ共済制度ご加入者さまがご加入いただけます**
8. **死亡保障はグループ共済制度でカバーします**

付帯サービスもご利用いただけます

- ・**人間ドック紹介予約サービス**
提携医療施設での人間ドック受診を、お申込みから予約確認まで代行するサービスです
 - ・**がんセカンドオピニオンサポートサービス**
がんに特化したセカンドオピニオン対応医療機関の窓口を紹介するサービスです
 - ・**復職支援サービス**
CancerWith for 住友生命...オンラインがん相談サービスです
Mystar...一人ひとりの健康状態や生活環境にあわせて、医療専門職(看護師・理学療法士・管理栄養士等)が最適な健康づくりのプランを提案します
- 上記付帯サービスは、被保険者であるご本人のみご利用いただけます。付帯サービス利用料は無料です。
※ただし、人間ドック受診料やセカンドオピニオン対応医療機関での受診料は被保険者ご自身の負担となります。
※CancerWithご利用は被保険者のご家族も可能ですが、相談は被保険者の治療やライフスタイルに関する内容に限ります。

<ご参考> 住友生命の団体3大疾病保障保険(全員加入型) お支払い実績

お支払い件数	3564件
2018年4月発表~2023年11月30日時点	
【支払い内容】	
・がん	2816件
・脳卒中	454件
・急性心筋梗塞	294件

男女別・年代別の保険金のお支払い実績(単位: 件)					
	20~30代	40~50代	60代~	合計	
男性	77	1091	1011	2179	
女性	105	869	411	1385	
合計	182	1960	1422	3564	

お問い合わせ、お申込みは住友生命の担当者または各工組にご連絡ください

ご加入ご希望のお客様には
引受保険会社の住友生命から
詳しい説明をさせていただきます。

全日電工連グループ共済制度幹事会社

住友生命保険相互会社

金沢支社

〒920-8632 石川県金沢市上堤町1-18

住友生命金沢上堤町ビル7F

TEL:076-231-1283

あなたの未来を強くする

住友生命

● 組合事務局日誌 ●

- | | | | |
|-------|--|------|--|
| 1月6日 | 仕事始め | 5月7日 | 配電委員会（北陸電気工事組合連合会） |
| 8日 | 三役会議・年始挨拶廻り（全日電工連） | 8日 | 常務会 |
| 10日 | 第2回役職員等研修会
（石川県中小企業団体事務局協議会） | 12日 | 金沢本部全体会議 |
| 14日 | 年始挨拶廻り（北陸電気工事組合連合会） | 14日 | 役員会 |
| 23日 | 選挙管理委員会
E S C O会議
女性部全体研修会（石川県中小企業団体中央会） | 15日 | E S C O委員会
理事会・定時総会（石川県電気業会） |
| 29日 | 金沢本部全体会議 | 16日 | 電設委員会（北陸電気工事組合連合会） |
| 2月3日 | 送配電協働情報連絡会（北陸電気工事組合連合会） | 19日 | 役員会（石川県中小企業団体中央会） |
| 4日 | E S C O事業 金沢市打合せ | 20日 | 加南本部全体会議 |
| 6日 | 大坂電工組 机上防災訓練ZOOM | 21日 | 役員会（石川県高速道路交流センター）
監事会（北陸電気工事組合連合会） |
| 14日 | 配電委員会
北陸三県女性部交流会
第一種電気工事士定期講習会 | 23日 | 役員会
（石川県中小企業団体事務局協議会） |
| 18日 | 新年懇親会 | 24日 | 百万石通り街路灯清掃点検 |
| 20日 | 組合員減少対策PT
理事会・政治連盟役員会・合同会議
（全日電工連） | 26日 | 支部大会・表彰式（日本電気協会北陸支部）
通常総会・表彰式
（全国労働保険事務組合連合会石川支部） |
| 26日 | 代議員会（ほくりく地域産業企業年金基金） | 27日 | 外線・引込線新入社員教育（～29日迄）
総会（北陸原子力懇談会） |
| 3月6日 | 取締役会（㈱全日電工連サービス） | 28日 | 理事会・三役会議・総合サービス取締
役会（全日電工連）
設立10周年記念式典・祝賀会
（石川電設協会） |
| 11日 | 第6回電気工事議員連盟総会（全日電工連） | 6月2日 | 第63回優良従業員表彰式・第84期通常
総代会・理事会 |
| 13日 | 年度更新説明会
（全国労働保険事務組合連合会石川支部） | 3日 | 通常総会・表彰式（石川県中小企業団体中央会） |
| 18日 | 配電工事特別安全パトロール | 6日 | 常務会・通常総会（北陸電気工事組合連合会） |
| 24日 | 企画委員会（石川県中小企業団体中央会）
経済講演会（石川県中小企業団体中央会） | 12日 | 正副会長会議（石川県建設産業連合会） |
| 25日 | 安全委員会
総務委員会
電気記念日式典（日本電気協会北陸支部） | 17日 | 通常総会
（北陸地区電気エネルギーを考える会）
広報委員会
内線新入社員教育（～19日迄） |
| 4月11日 | 能登本部全体会議 | 19日 | 理事会・通常総会（石川県建設産業連合会）
通常総会（石川県中小企業団体事務局協議会） |
| 15日 | シン組合PT | 25日 | 三役会議（全日電工連） |
| 18日 | 総合政策会議（全日電工連） | 26日 | 理事会・通常総会（全日電工連）
シン組合PT |
| 21日 | 配電工事業者事業主会議 | | |
| 22日 | 監事会
技能競技総括委員会（全日電工連） | | |
| 24日 | 総務委員会（北陸電気工事組合連合会） | | |

こうほう 第164号

発行 2025年7月20日

発行所 石川県電気工事工業組合
金沢市新保本4-65-22
TEL (076) 269-7880(代)
FAX (076) 269-7881



能登をひとつに

私たち北陸電力送配電は、地域の皆さまに支えられながら事業運営していることを

従業員一人ひとりが胸に刻み、皆さまとところをひとつにして

能登の復興と北陸の発展に全力で取り組んでまいります。

未来へ、めぐらせる。



北陸電力送配電